

令和4年度 空知高等学校弓道競技選手権大会

兼第68回北海道高等学校弓道競技選手権大会 空知支部予選会 大会要項

1 主 催

北海道高等学校体育連盟空知支部

2 共 催

北海道弓道連盟中部地区

3 後 援

砂川市 砂川市教育委員会

4 主 管

北海道高等学校体育連盟空知支部弓道専門部

5 当 番 校

北海道砂川高等学校 (TEL 0125-52-3168 FAX 0125-52-3169)

6 期 日

令和4年5月25日(水)～27日(金)

7 会 場

砂川市総合体育館仮設弓道場(メインアリーナ)

所在地 〒073-0127 砂川市日の出1条南9丁目 TEL 0125-54-2175

8 日 程

5月25日(水)	14:00～16:00	受付・公式練習	
	16:00～16:45	監督・主将会議(射場にて)	
5月26日(木)	9:10～9:30	顧問会議(射場にて)	
	<u>*開会式は昨年同様コロナ感染対策のため行いません</u>		
	9:40～13:30	男女個人戦予選	2立
		昼食休憩	
	14:00～14:30	男女個人戦決勝	1立
	14:30～15:00	男女順位決定戦	
	15:30～16:40	男女団体戦予選	1立目
5月27日(金)	9:00～	顧問会議(審判打合せ)	
	9:30～10:30	男女団体戦予選	2立目
	10:30～10:40	準決勝進出校決定競射(上位6校)	
	10:40～11:40	男女団体戦準決勝	1立
		男女団体戦組合せ抽選	
		昼食休憩(顧問会議)	
	12:30～14:30	男女団体戦4校リーグ戦	
	14:40～15:00	<u>表彰式(関係者のみ)</u>	
	15:00～16:00	会場撤収作業	

9 種 目

近的競技(男子・女子各団体および個人の部)

男女の立ち順は全道大会にならう(立ち順は毎年交代で、今年度は男子→女子の順)。

10 競技規則

北海道高等学校弓道大会競技規則による。

11 参加資格

- (1) 平成15年4月2日以降に生まれた者。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (2) 転校後6カ月未満の者は参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。
ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。
- (3) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長が支障ないと判断した者とする。
- (4) 「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入した者、または加入の意思のある者。
- (5) 参加資格の特例
 - ア 上記の(1)～(4)の大会参加資格を満たした生徒を、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ 上記の(1)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。なお、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。
 - ウ 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。

【大会参加資格の別途規定】

- 1 北海道高等学校体育連盟加盟校以外の学校に在籍し、全道高等学校体育大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
大会参加資格を認める条件
 - ア 北海道高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。
また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間が高等学校に比べ著しく均衡を失しておらず、運営が適切であること。

12 引率責任者及び監督

引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。

ただし、引率責任者と監督が同一の場合は教員とする。

監督は校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の二に示されたも者）も可とする。

13 チーム編成等

- (1) 団体の部は、選手5名・補欠2名・監督1名とする。
- (2) 個人の部は、エントリーされたすべての選手（上限はなし）・監督1名とする。
- (3) 課程（全日制・定時制・通信制）ごとの生徒によるチームであること。

14 競技方法

(1) 団体の部

- ア 予選は「参加申込書」の登録順に5名が出場し（3人から団体として認める）、一人8射計40射を行う。的中数上位の6団体が準決勝に進出する。同中の場合は、一人1射ずつの競射を行い決定する。
- イ 準決勝は一人4射、計20射を行い、予選の的中数との合計により、上位4校が決勝に進出する。同中の場合は、一人1射ずつの競射を行い決定する。
- ウ 決勝は一人4射、計20射のリーグ戦とし、対戦組合せは抽選による。同中の場合は、一人1射ずつの競射を行い決定する。
- エ 決勝の順位決定は次による。
 - ① 勝ち点の多いチーム。
 - ② 勝ち点の同じ場合は、リーグ戦の合計的中数による。
 - ③ 上記の②で決しない場合は、当該チーム同士の対戦成績による。
 - ④ 上記の③で決しない場合は、予選での合計的中数による。
 - ⑤ なおかつ上記の④により決しない場合は、一人1射の競射による。

(2) 個人の部

- ア 予選は一人8射を行い、的中数5中以上をもって通過とする。
 - ※8射5中以上の者が出なかった場合は入賞者無しとするが、全道大会出場者の的中上位者より決める(方法は遠近競射とする)。
- イ 決勝は一人4射を行い、予選の的中数との合計により順位を決定する。最上位を決定する場合に限り射詰競射を行う。射詰競射は10人以下となった時点で持ち的とする。射詰競射においては、9射目以降は24cm星的を使用する。的替えのため、8射終了後選手を一旦退場させ、立順を詰めて持ち的で競技を継続する。的中を失った場合は、最上位者を決定する場合に限り射詰競射とし、その他は遠近競射による。遠近競射による順位決定は最上位決定後に行う。
- ウ 予選は三人立ち3射場、決勝は五人立2射場とする。

(3) 競技は個人戦、団体戦とも決勝のみ坐射とする。

(4) 競技時間の制限

競技時間は、本座において進行係の合図で始まり最後の射手の離れで終わる。1団体（5名）20射の行射は8分以内（立射は7分以内）とする。なお制限時間30秒前に1回、制限時間で2回の合図をする（ベル）。

弦切れ、その他の事故が生じても時間延長は認めない。その他については進行係や審判の指示に従う。

追い越し発射は認められない。なお、追い越し発射をした射手の射は無効とする。

(5) 選手の交代

- ア 団体選手の交代は、申込用紙に記載された選手以外認められない。
- イ 団体競技の先発メンバーは登録順の5名とし、選手の交代は3回まで認める。監督主将会議の際から受け付ける（交代した選手の再出場はできる）。ただし、準決勝及び決勝進出校決定のための射詰競射、決勝リーグ戦の同中競射においては交代は認められない。

- ウ 交代は1回につき補欠一名の場合は1名、補欠2名の場合は2名以内とする。
- エ 選手の交代は、第3控えに入るまでにそれぞれ交代用紙に記載し、監督から本部（放送）を通して競技委員長または競技副委員長へ届け出ること。
- オ 3回の交代をした後、選手に事故が生じ欠場する場合は、欠員のまま団体とする。
- カ 個人の部の選手交代は認められない。

(6) 替矢

- ア 出場選手は、四ッ矢の他に替矢を持参すること。
- イ 矢返しは四ッ矢が終わるごとに行い、1本ごとの矢返しは認めない。
- ウ 替矢を持たずに同中競射および射詰競射に入った場合、5本目に替矢がない場合は失権とする。

15 参加申込

(1) 申込方法

- ア 参加選手及び参加料の明細を所定の申込用紙に記入して、インターネットを利用してメール送信でお願いします。メール送信期日は5月12日(木)必着とします。
- イ 次に正式な申込書（公印のあるもの）を郵送してください。

正式な申込書はメールによる仮申込書とメンバー・立ち順が同一でなければなりません。正式な申込の際に、立射申請・取り矢免除申請等がある場合は、所定の用紙を同封してください。正式申込書の郵送は5月17日(火)必着とします。

(2) 坐射や取り矢ができない場合の手続き

以下の手続きをお願いします。

- ア 先天的に身体的障害があってできない場合は、参加申込書の備考欄にその旨を記入するとともに「立射等の申請書」を添えること。
- イ 怪我等によってできない場合は、事前に診断書または「立射等の申請書」を添えて提出すること。なお、申込後に怪我が生じた場合も、すみやかに同様の手続きを行うこと。

(3) 申込先

〒073-0122

北海道砂川高等学校 砂川市吉野2条南4丁目1番1号

空知高等学校弓道競技選手権大会事務局（担当 鈴木晶子）

電話 0125-52-3168 FAX 0125-52-3169

メールアドレス asuzuki@hokkaido-c.ed.jp

(4) その他

※ 電子メールでの仮申込について

プログラム作成で誤字を防ぐために、参加申込用紙を電子メールの添付ファイルとして送信していただくようお願いいたします。上記のメールアドレス宛てに送信してください。なお、選手名にパソコン変換が利かない特殊な文字が使用されている場合は別途FAXにて当番校までご連絡ください。

※ 個人情報の取り扱いについて

大会参加に関して提供される個人情報は、本大会運営に限り利用するものとし、他の目的に利用することはありません。

16 参加料の払込

(1) 参加料 一人500円

同一選手が団体戦と個人戦の両方にエントリーしている場合は、一方の金額だけとします。選手として出場しない補助生徒の参加料は不要です。

(2) 振込先

北洋銀行 砂川支店 普通預金 店番号 062 口座番号 0613236 砂川高校 当番校 会計 高野隆広 スナガワコウコウ トウバンコウ カイケイ タカノタカヒロ

(3) 振込期日 令和4年5月12日(木)

17 表彰等

(1) 表彰

ア 団体の部は、男女とも3位まで

イ 個人の部は、男女とも6位まで

ウ 北海道弓道連盟中部地区表彰

① 射道優秀校(準決勝進出校を対象とする)

① 皆中賞(団体の部・個人の部出場者中、予選より連続8射皆中した者。

ただし、両者を兼ねる場合は個人の部の成績を対象とする)

(2) 空知支部全道大会出場枠(参加人数および参加チームの過去3年間の参加率より)

ア 団体の部は、男女とも2校

イ 個人の部は、男女とも4名

18 競技上の諸注意

(1) 弓具

ア 選手は全日本弓道連盟競技規則に定められた弓具を使用すること。

イ 押手掛け(指押手を含む)以外の補助具は原則として認めない。

ウ 牒(ゆがけ)の紐は危険防止のため小さく結び、止め具の使用は禁止する。

エ 弓具に照準・目印をつけてはならない。

オ 矢摺籐の長さは、籐頭より6cm以上とする。

(2) 服装

ア 弓道衣(白)・袴(紺又は黒の無地)とし、白足袋を着用すること。

イ 弓道衣のアンダーシャツは白・黒・紺の無地とする。

ウ 弓道着に校名・校章を入れる場合は、片袖に限る(大きさは10cm平方以内)。

エ 鉢巻きを使用する場合は、長さは肩までとし、同色の無地とする。また、鉢巻きは同一校の選手は同一のものを着用すること。なお、校名・校章・氏名に限り入れてもよい(ただし、全道大会以上では、鉢巻きの片端一カ所に限る)。

オ 胸当は無地とし校名・校章・その他を入れてはならない。

カ リボン・ピアス等の装身具類は着用しないこと。

キ 弦に当たる恐れのある頭髪は、鉢巻きを強制することがある。

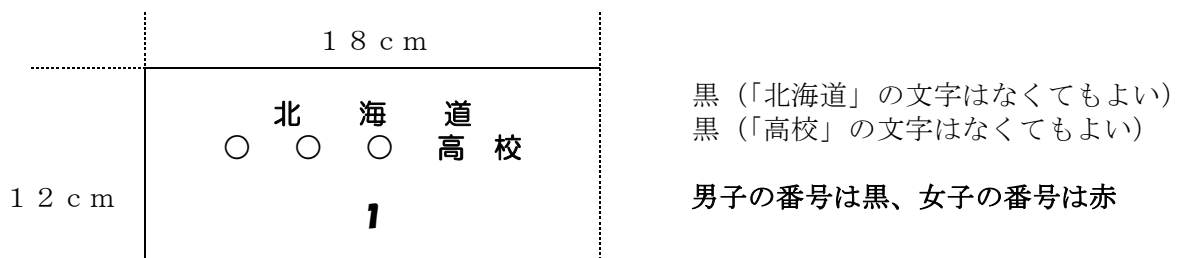
(3) ゼッケン

選手は次によりゼッケンを着用する。

ア プログラムに登録された番号を表示したゼッケンを右腰前に付けること。ただし、ゼッケンの左端が体の中央になるようにする。(番号は団体のみ)

イ 選手の交代によりゼッケンを替えてはならない。

ウ ゼッケンの記載は横 18 c m、縦 12 c m の白の布を使用すること (布または紙で作成したものをケースに入れることは可)。「北海道」学校名および男子の選手番号は黒、女子の選手番号は赤で記入すること。



(4) 会場使用について

ア 競技会場では、壁・柱などを使用した弓張りを禁止する。

イ 土足は絶対にしないこと。

ウ 競技中のフラッシュ撮影は厳禁とする。

19 公式練習について

競技前日の監督主将会議前に本会場にて公式練習を5人立2射場にて行います。その際、補助役員業務に参加できる高校は補助役員生徒の矢取り等の補助役員業務の練習を行います。

(1) 使用時間

午後1時～午後3時

会場設営が早く終わった場合は、開始を若干繰り上げる場合もあります。

(2) 使用方法

立射にて1回につき一手で行います。係の指示に従って行ってください。矢返しは、使用する学校で工夫して行ってください。

(3) 注意事項

必ず監督など責任ある方が射場内に付き、3密防止・危険防止にご留意ください。

なお、選手は試合の服装(ゼッケン着用)で、節度を守った行動を心がけてください。

20 コロナ感染症対策

(1) 大会1週間前からの体温・体調等を別添の「健康チェックシート」に記入し、25日の受付の際に各校でまとめて提出して下さい。この期間内に37.5℃以上の発熱や諸症状があった場合は大会への参加はできません。

(2) 大会期間中は会場入館時に体温チェックを行います。37.5℃以上の発熱があつ

た場合は、入館はできません。

- (3) 競技中の選手以外は、必ずマスクを着用し、ソーシャルディスタンスを十分に心がけ、大きな声を出すことのないようにご配慮ください。選手は射場内入場直前（第二控え）でマスクを外し、各自の懷内に保管し、退場後すみやかに着用してください。

- (4) 北海道高体連からの通達に基づき、大会期間中は無観客とします。

開会式・閉会式も行いません。会場に入館できるのは選手および補助生徒・引率者・当番校職員など大会役員に限ります。

「よし」の発生はできません。皆中時の拍手は可です。

21 その他

- (1) 競技当日（2日間）の補助生徒について

補助生徒につきましては、各学校の弓道部員1年生（試合に出場しない生徒）を、事前に登録していただいて運営したいと考えています。

役割分担については、事前の登録用紙をもとに当番校が役割分担表を作成して監督主将会議の際にお渡しします。

主な業務は、矢取り、看的表示、記録、計時などです。

- (2) 専門部分担金について

弓道実施校は、4,000円を徴収します。ただし、男子のみまたは女子のみの場合は2,000円とします。この分担金については、大会1日目の顧問会議の際に専門委員へお支払いください。

- (3) 控え場所について

控え場所は砂川市総合体育館メインアリーナの観客席です。

学校ごとに座席割りをしておきます。ゴミなどは各校で責任を持ってお持ち帰りください。